

科目名	臨地実習Ⅱ(臨床栄養)					開講 キャンパス	神 埼
担当者	梅 木 陽 子・三 隅 幸 子・熊 川 景 子						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	この授業は、学外において行う実習である。病院等の医療提供施設を利用するひとの健康・栄養上の諸問題を知り、それらに携わる管理栄養士の指導を受けてその職務を体験する。管理栄養士として具備すべき専門知識・技術の修得と現場での応用により、適切な臨床栄養管理業務の実践を体験できるようサポートを行う。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 具体的な目標を持って実習に取り組むことができる。</li> <li>2) 医療現場における臨床栄養管理業務を概説できる。</li> <li>3) 栄養ケア・マネジメントの一連の流れを概説できる。</li> <li>4) 食事療法の基本事項をふまえ、病態に応じた献立の作成・展開ができる。</li> <li>5) POSによる栄養指導記録を作成できる。</li> <li>6) 栄養管理計画書を作成できる。</li> <li>7) 経口栄養、経腸栄養、経静脈栄養の適応症例、使用される代表的な栄養剤等に関する基本事項について説明できる。</li> <li>8) 食事・栄養管理に関わる基本的臨床検査データを読み取ることができる。</li> <li>9) 患者の栄養状態評価に有用な評価法とその特徴・意義を概説できる。</li> <li>10) チーム医療における関係各専門職および管理栄養士の役割を概説できる。</li> <li>11) 守秘義務の必要性とその範囲について述べるができる。</li> <li>12) 体験した管理栄養士の職務に基づいて、課題や理想とする姿を文書で提案できる。</li> </ol>						
学習方法	学外実習						
テキスト及 び参考書等	実習ノート						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○	○	○			25
授業態度	○	○	○	○			75
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)</b>							
第1週	単位は2週間の学外実習で修得できる。						
第2週	(事前に行うこと)						
第3週	オリエンテーション						
第4週	事前学習						
第5週	実習の課題検討						
第6週	実習先訪問、事前挨拶						
第7週	(実習期間に行うこと)						
第8週	給食を通じた栄養管理について						
第9週	臨床栄養管理について						
第10週	・栄養ケアマネジメントについて						
第11週	・栄養教育、病棟訪問等の実際について						
第12週	・チーム医療における管理栄養士の役割について						
第13週	(実習後に行うこと)						
第14週	実習ノート、実習報告書提出						
第15週	実習報告会(反省会)						
第16週							
備考	臨地実習Ⅱは次の項目を充足していなければ履修できません。 ① GPA値が1.5以上、かつ3年前開講済までの開講される科目の修得単位数が75単位以上であること。 ② 臨床栄養学概論、食事療法論を修得し、栄養総合演習Ⅰを履修していること。 関連科目の復習と実習課題の事前学習を充分に行って実習に臨むこと。また、実習後は学んだことや体験したことを振り返り、ノート、資料の整理を速やかに行うこと。						